



冬の運動不足解消に最適

安平町歩くスキー協会主催の町民歩くスキーの集いが2月1日に行われ、13名が参加。出場者の中には、米寿を迎える方もいました。雪不足で急ぎよ、ときわキャンプ場内にコースを変更。好天に恵まれ、厚手の服を着た人の額には汗がにじんでいました。

昭和58年に早来町歩くスキー同好会が結成され、翌年に協会として体育協会

に加盟。冬期間の体力づくりと会員の親睦を図りながら今日に至り、「運動不足解消には最適なスポーツ」と呼びかけ普及に努めてきました。全国規模の大会にチャレンジした人もいます。

2月8日には遠浅アイリスコースでも実施され、14名が心地よい汗を流しました。



ときわキャンプ場内(写真上)
遠浅アイリスコース(同左)



元プロ選手が一流のプレーを披露

プレーを披露

2月14日と15日の2日間、追分フットボールクラブがコンサドーレ札幌のゴールキーパーを務めた阿部哲也さんを招いてフットサル教室を開催。バス、トラップ、シュートなど、さまざまな局面でサッカーとフットサルとの違いの説明と、実演を交えながら講習が行われました。

紅白試合では、正確なボールさばきに子どもたちは翻弄される場面も。終わりには元プロ選手のゴールキーピングを披露し、子どもたちの目を釘づけにしていました。

近隣市町から184名の選手が参加

第19回目を迎えた近隣市町親善少年柔道大会が2月15日、追分高等学校体育館で行われ184名が参加。厚真町や苫小牧市のほか札幌方面からもエントリーがあり、評判の高い大会です。

試合は、小学生各学年の男女の部のほか、柔道の普及を目的に就学前の幼児の部が設けられています。競技前に監督から助言を受ける選手や敗れて涙を流す子どもの姿も見られ、閉会式では各クラス上位3名が表彰を受け、それぞれ賞状を胸に抱え記念写真を撮る姿が見られました。

また、昼食には手作りの豚汁が振舞われ美味しそうに味わっていました。

安平町から17名が出場し上位入賞者は次のとおりです。

小学1年男子の部 優勝 筒井龍伸君(遠浅小)、2位 木村光太郎君(追分小)



相手の体勢を崩して大技を仕掛け1本勝ちを狙う



優勝した筒井君(左から3人目)と2位の木村君(同2人目)